わたしたちは、良質な医療を提供し、地域の皆様から愛され、信頼される病院を目指します!

南部町国民健康保険
西伯病院
SAIHAKU HOSPITAL

まいちょこ通信

2026年
秋号
VOL.19

精神科デイケア、重度認知症デイケア「らくらく」、「通所リハビリ」合同作品展を開催

日々のプログラムの中で利用者さんが心を込めて制作された、書道や塗り絵、陶芸などの作品を展示いたしました。

中でも注目の作品は、貼り絵で制作した「モザイクアート」です！利用者さんが協力し制作された大作です。1,300枚以上の折り紙をドット状に折り、レイアウトに合わせて一枚一枚丁寧に貼り付けていきました。「本当に絵になるのかな？」と最初は少し不安もありましたが、作業が進むにつれて次第に作品の形が見えてくると、利用者さんもスタッフもテンションが上がっていきました！完成した瞬間の達成感は、ひとしおです。

制作風景の様子は、西伯病院の公式Instagram（インスタグラム）でもご紹介しておりますので、ぜひご覧ください！











〈内容〉

- ●通所系サービス合同作品展
- ●健診ガイドのご案内
- ●外科部門のご紹介

【西伯病院 公式アカウント】

健診ガイド

START

1.健診項目を確認
町から届いた封筒の受診券をみてみよう

2.予約
電話でもOK
直接来てもOK

3.受診
受診時の流れ
下記参照

4.結果をチェック
精密検査が必要なら
そのままにしない

GOAL

健診当日の流れ
～特定健診・胃がん検診・肺がん検診の場合～

1 3番 総合受付で健診受付



2 13番 健診センター



3 14番 特定健診(採血)



4 15番 肺がん検診(ﾚﾝﾄｹﾞﾝ)

5 16番 胃がん検診(胃ｶﾒﾗ)



6 13番 健診センター(診察)



7 3番　総合受付で支払い

◆ 協会けんぽの健診がさらに手厚く、新しく ◆

令和8年4月からスタート　生活習慣病予防健診人間ドック

	生活習慣病予防健診	人間ドック健診
対象者	35歳～74歳の方	
身長・体重・腹囲	○	○
視力・聴力	○	○
血液検査	○	○
(貧血･肝機能･血清脂質･腎機能･尿酸)	○	○
(がんマーカー･糖尿病･肝炎ウイルス)		●
検尿・検便	○	○
腹部超音波		●
胃カメラ（　経口・経鼻　）	○	○
胸部レントゲン	○	○
心電図	○	○
眼底・眼圧		●
肺機能検査		●
歯科検診　（　希望者のみ　）		●
直腸指診　（　希望者のみ　）		●

基本料金	19,635円	45,100円
協会けんぽ助成額	14,135円	25,000円
負担金(会社または本人)	5,500円	20,100円

いつも西伯病院の健診をご利用いただきありがとうございます。

皆さまの生活習慣病予防やがんの早期発見、健康の維持・改善のお力添えが出来ればと思っております。町民の方から『西伯病院で健診を受けて良かった』と言ってもらえるような健診センターをこれからも目指したいと思います。

西伯病院　健診センター 一同

外科部門のご紹介

「今日はどうなさいましたか？」

外科診療は、この一言から始まります。

患者さんにとって病院受診は大きな決断ですが、特に外科受診時には、すでにケガや痛みのある場合もあり、治療のために体の一部に痛い思いをするかもしれないためなおさらです。だからこそ、私たちは“外科治療の重み”を忘れないことを大切にしています。患者さんは、医療者に説得されるために病院へ来ているのではなく、自分の病気や治療について理解し、自分自身の治療を選び、納得するために来ているのだと思っています。ですから“どうなさいましたか？”から“納得の治療”につなげることが目標です。そのため西伯病院外科では、標準治療を軸とした診療を行っています。標準治療とは、現時点で得られている医学的な知見をもとに、最も信頼性が高いと考えられている治療法です。標準治療を基本としながら、年齢や体力、病状、生活背景、患者さんの希望などを考慮し、個別に治療方針を考えていきます。

診療体制が常勤医師２名から、常勤医師１名+非常勤医師１名＋週1回の鳥大消化器外科応援医師１名となったことから全身麻酔での長時間の手術は控えています。しかし、硬膜外麻酔、腰椎麻酔あるいは局所麻酔で施行できる鼠径ヘルニア、栄養補給ポート造設術、痔、皮膚のできものなどには対応しています。スムーズかつ安全に処置や手術が行えるよう、手順、準備などについて常にスタッフ間でたくさん話をして、情報共有に努めています。

手術以外では、外傷、帯状疱疹、ハチ刺傷、マムシ咬傷、爪の痛みなど、地域で日常的に起こる外科的な困りごとについても、治療に当たっています。さらに主に消化器癌の化学療法（抗癌剤治療）、緩和治療、各種術後のリハビリや経過観察、検診のうち乳がん検診も担っています。各種検診はみなさんに是非受けていただきたいと思っています。検診で、より早期の病気が発見されれば、より小さな負担で治療が完結するからです。

いろいろな治療を安全かつ適切に行うために、設備、知識、経験、体制の維持などに気を配っています。器機の保守、多職種で集まって委員会を開催し治療法に関する知識の共有すること、標準治療についてスタッフみんなでのアップデートすること、そして「知識＋手技＋チーム」を大切にしています。

また、「地方の中の地域」における外科にとって、コーディネーターになることも大切と考えています。大きな病院だけですべての治療が完結するわけではないため、患者さん一人ひとりについて「どこで、どのような治療を受けるのが適切なのか」を考え、必要な場所へ適切につなぐことです。スピード感を持って各科や専門施設と連携し、地域でできる治療は地域でしっかり支えたいと考えています。

「今日はどうなさいましたか？」。この一言には、安全で適切な医療を提供すること、患者さんが十分に理解し納得して治療を受けられる外科であることを目指す気持ちを込めています。「困ったな」、「大丈夫かな」、そんなときには遠慮せず西伯病院外科をたずねてください。

外科　堅野国幸



南部町国民健康保険西伯病院
〒683－0323　鳥取県西伯郡南部町倭397
TEL 0859－66－2211　https://www.saihaku-hospital.com/

病院に関するご意見、ご要望、また、広報誌に対するご意見などお待ちしています。

表紙題字　大下真史